

MITSUBISHI

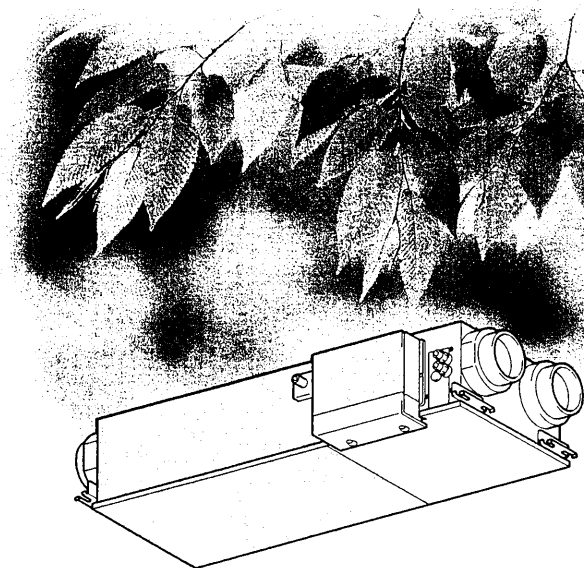


三菱 高気密 高断熱 住宅用 換気・冷暖房システム

形名

VL-514HPR₂、VL-614HCR₂ (冷暖房ユニット)VL-42ALS₂ (室外ユニット)、P-50LTU (コントローラ)

取扱説明書



もくじ

お使いになる前に

エアリポートとは	2
安全のために必ず守ること	4
各部の名称	6

コントローラのなまえとはたらき	7
ご使用前の準備	8
換気運転のしかた	9
空調運転 (自動・暖房・冷房・ ドライ・送風) のしかた	10
停止のしかた	12
長期間ご使用にならないとき	12
便利なつかいかた	13
セーブ運転	13
空調風量の変更	13
タイマー運転	14
アシスト運転	15

お手入れ・困ったとき

お手入れ	16
故障かな?と思ったら	18
保証とアフターサービス	19
保守契約のお願い	20
仕様	20
ご相談について	20

このたびは三菱電機換気・冷暖房システムをお買い求めいただきまして、まことにありがとうございます。

- ご使用前にこの取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
- 保証書は必ず「お買上げ日・販売店名」などの記入を確かめて販売店からお受取りのうえ、取扱説明書・据付工事説明書とともに大切に保管してください。

この製品は日本国内用ですので日本国外では使用できず、またアフターサービスもできません。
This appliance is designed for use in Japan only and can not be used in any other country.
No servicing is available outside of Japan.

(エアリゾートとは)

エアリゾートとは、高气密・高断熱住宅で、家の中全体を換気しながら空調(暖房・冷房・除湿・送風)するシステムです。

換気します P.9

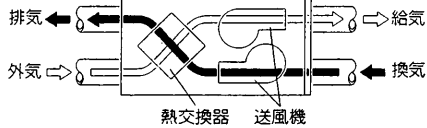
空気を循環させ、換気します

- 右図のように空気を家の中全体で循環するとともに、エアリゾート本体で集めて換気します。

温度を逃がさず経済的

- ロスナイ換気ユニットにより、換気しても家中の温度をできるだけ外に逃がさないで、省エネで経済的です。

ロスナイ換気ユニットのはたらき

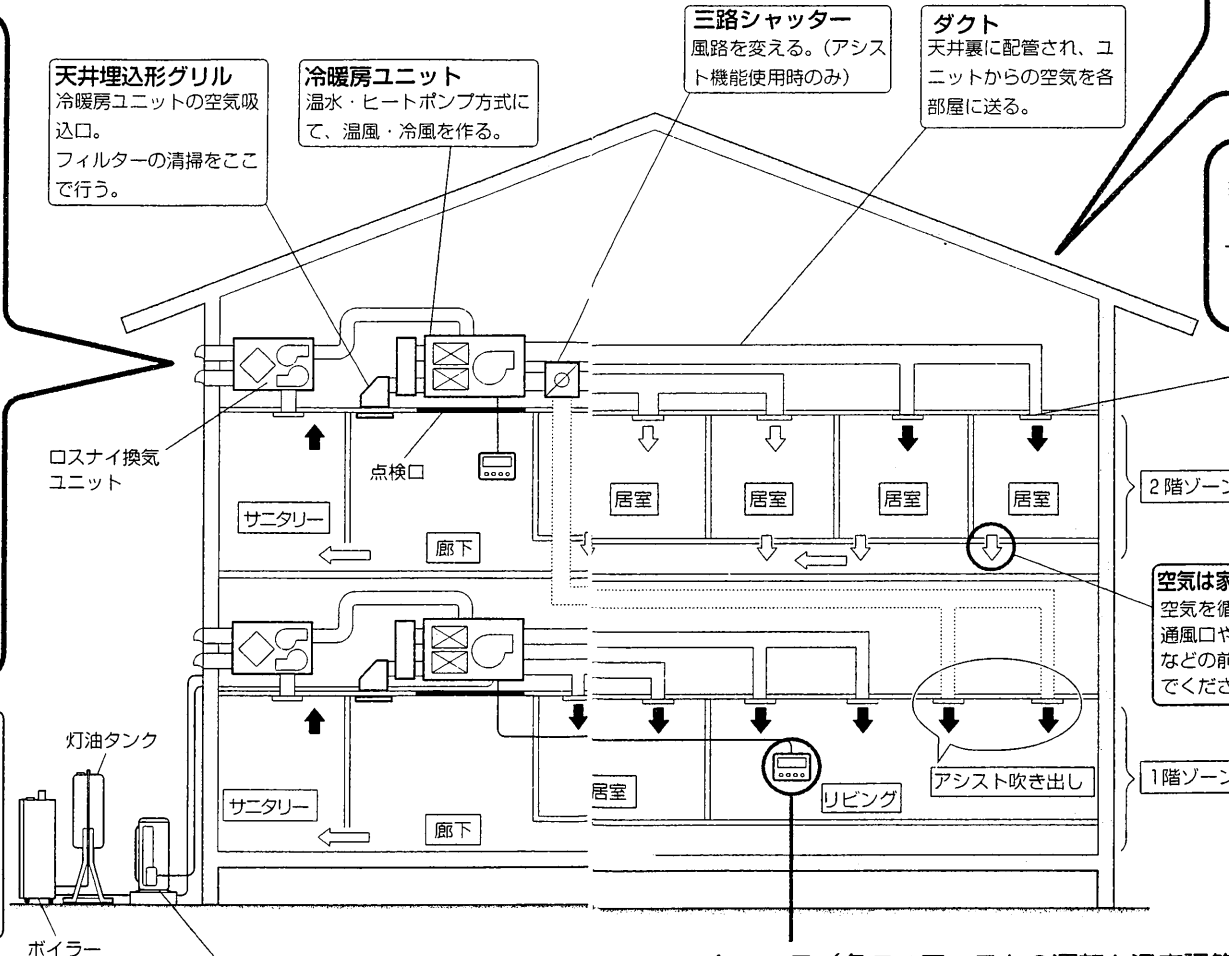


常時換気で新鮮空気!

- 常に汚れた空気を排出し、新鮮な空気を供給します。
- 外気の花粉やホコリを外気清浄フィルターで取り除き、きれいな空気を取り入れます。

高气密・高断熱住宅とは

- 外気と家の中が高度に遮断されている住宅です。部屋と廊下とで極端な温度差ができません。また、いちど暖まったらわずかなエネルギーで温度を保てるなどのメリットがあります。
- 「高气密・高断熱住宅」には、常時換気が欠かせません。



天井埋込形グリル
冷暖房ユニットの空気吸入口。
フィルターの清掃をここで行う。

冷暖房ユニット
温水・ヒートポンプ方式にて、温風・冷風を作る。

三路シャッター
風路を変える。(アシスト機能使用時のみ)

ダクト
天井裏に配管され、ユニットからの空気を各部屋に送る。

空調します P.10

空調運転(自動・暖房・冷房・ドライ・送風)で運転します。

便利な機能

換気そのまま、空調をひかえて省エネ運転。

セーブ運転 P.13

ゾーンでタイマー運転ができます。

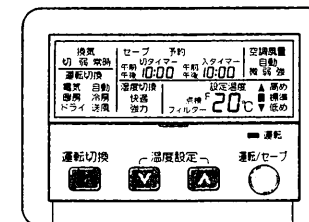
タイマー運転 P.14

給気グリル
各部屋に温風・冷風を吹き出す。

空気は家の中を循環します
空気を循環させるために、通風口やドアの下の通気口などの前にものを置かないでください。





コントローラ (各フロアごとの運転と温度調節)

各フロアにはコントローラがあり、そのフロアでの運転/停止および、温度調節、タイマー設定を行います。常時換気しながら空調のみをひかえめにする「セーブ運転」も選べます。



（安全のために必ず守ること）

警告 誤った取扱いをしたときに死亡や重傷などに結びつく可能性があるもの






 長時間直接お肌に冷風をあてない 体調悪化や健康を損なう原因になります。	 吸込口・吹出口に指や棒などを入れない ファンや動作部にはさまれ、ケガの原因になります。
 異常時（こげ臭いなど）はブレーカーを切る（ブレーカーは、100V用、200V用の2つがあります。） 異常なまま運転を続けると火災・故障の原因になります。	 お客さま自身で据付け・修理・分解・改造・移設はしない 火災・感電・落下・転倒によるケガ・水漏れの原因になります。 据付け、修理・分解・改造移設は、「ご相談一覧」にご相談ください。

注意 誤った取扱いをしたときに傷害または家屋・家財などの損害に結びつくもの

 精密機器・食品・動植物・美術品の保存などに、使用しない 品質低下または動植物への害の原因になります。	 掃除のときはシステムを停止する ファンや動作部にはさまれ、ケガの原因になります。
 開放型暖房機（開放型石油ストーブ・ガスストーブ等）は使用できない 汚れた空気を室内に放出する原因になります。	 お手入れの際は手袋を着用する ケガの原因になります。
 直接風のおたる所に動植物を置かない 動植物に悪影響をおよぼす原因になります。	 お手入れ後の部品の取付けは確実に 落下によるケガの原因になります。
 殺虫剤・可燃性スプレーなどを吹きつけない 火災・変形の原因になります。	 排水（ドレン水）が漏れていないか確認する 汚損の原因になります。
 窓や戸の開けっぱなしなど高温状態で運転はしない 吹出口に露がつき、滴下して家財などをぬらし、汚損の原因になります。	 アースが取付けられているか確認する 故障や漏電のときに感電の原因になります。アースの取付けは「ご相談一覧」にご相談ください。
 給気グリルをふさがない 冷暖房・換気能力が低下します。換気が不足する原因になります。	 長時間使用しないときは分電盤ブレーカーを切る 絶縁劣化による感電や漏電火災の原因になります。
 ぬれた手でコントローラを操作しない 感電の原因になります。	 激しい雷のときは、ブレーカーを切る 落雷による製品の損傷を防止できる

（安全のために必ず守ること つづき）

注意 誤った取扱いをしたときに傷害または家屋・家財などの損害に結びつくもの

 据付台などが傷んだ状態で放置しない 室外機が落下・転倒し、ケガの原因になります。	 可燃性ガスの漏れるおそれのある場所には室外機を据付けない 万一ガスが漏れて、室外機の周囲にたまると、爆発の原因になります。
 室外機の上に乗ったり、物を載せたりしない 落下・転倒によるケガの原因になります。	 防錆循環液の点検 防錆循環液は2年に1回点検（液量、濃度）が必要です。 お買上げの販売店に依頼してください。
 防錆循環液には、三菱純正防錆循環液（濃度 50%調整品 VPZ-10KX-ECO, VPZ-18KX-ECO）を必ず使用する 水や自動車用不凍液を使用すると防錆効果が異なり、ポンプロック・釜なり・システム寿命低下等の原因になります。	

知っておいていただくこと

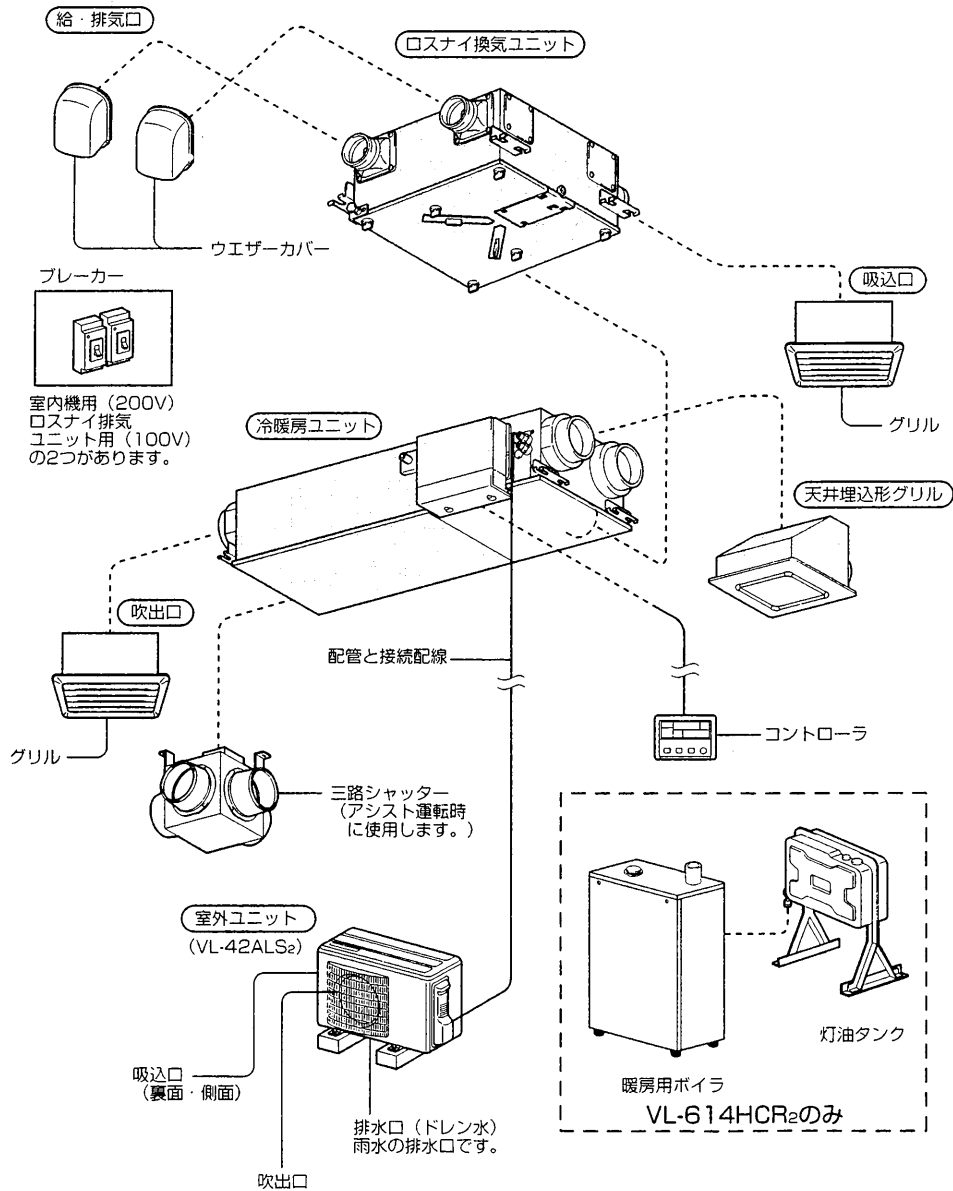
- 吹出口や室内機の吸込口の前にものを置かないでください。能力の低下や騒音・故障の原因になります。
- 次の環境で使用してください。

運 転	条 件	条件以外で運転を続けるたとき
暖房時	外気温度24℃以下	保護装置が働いて停止することがあります。
冷房・ドライ時	リモコン設定温度20℃以上 お部屋の湿度80%以下	吹出し口などに露がつき、滴下することがあります。

- お部屋の温度と湿度を検知するセンサーが冷暖室内ユニットの内部にあります。温度と湿度のコントロールは、冷暖房室内ユニットの吸込空気で行なっていますので、設定温度はあくまで目安としてお使いください。
- 本製品は、ドライ運転に切換えることによって、室内空気の温度を設定温度に近づけながら、室内吸込空気の湿度を目標湿度に近づけるように運転します。しかし、設置状態や室内・室外の温湿度によっては、設定温度や目標湿度に達しない場合があります。

各部の名称

※図は標準的な設置例です。



(コントローラのなまえとはたらき)

表示部

セーブ表示
セーブモードの時に点灯します。

予約表示
タイマー予約中に点灯します。

切タイマー時刻表示
切タイマー設定時刻を表示します。タイマーを使用しない場合は現在時刻を表示します。

入タイマー時刻表示
入タイマー設定時刻を表示します。

換気量表示
設定した換気量を表示します。

運転切換表示
設定した空調モードを表示します。

湿度切換表示
ドライ運転時の設定した湿度を表示します。

運転切換ボタン
空調モード(自動、暖房、冷房、ドライ、送風)を切換えるボタンです。

フィルター表示
フィルターの清浄が必要な時に点滅します。

湿度切換ボタン
ドライ運転時の設定湿度を切換えるボタンで押したびに快適→強力

換気風量切換ボタン
換気風量を切換えるボタンで押したびに常時→弱→切

時計時刻設定ボタン
時計の時刻設定を行う時に使用します。

フィルターリセットボタン
フィルター表示を消すボタンでフィルター清掃後に押しします。

空調風量表示
設定した空調風量を表示します。

温度設定表示
運転切換が「自動」の場合の温度設定を表示します。

設定温度表示
設定温度を表示します。(暖房モード、冷房モード時、ドライモード時のみ)故障が発生した場合は点検表示とともにエラーコードを表示します。

運転ランプ
運転状態の時に点灯します。(空調機停止の時は消灯します。)

温度設定ボタン
設定温度を上げる▲ 下げる▼ します。

運転/セーブボタン
運転状態⇄セーブ状態を切換えます。

空調運転/停止ボタン
空調の運転/停止を切換えます。

空調風量ボタン
空調風量を切換えるボタンで押したびに自動→微→弱→強

タイマー予約/取消ボタン
タイマー運転を行うかを選択するボタン。

アシスト運転ボタン
アシスト運転を使用するかを選択するボタン。(アシスト用の配管がある場合のみ有効です。)

切タイマー-入タイマーボタン
切タイマー、入タイマーの時刻を設定するときに押しします。

もどる・すすむボタン
時計・入タイマー・切タイマーの設定時刻を「もどる」「すすむ」する。

⇒セーブとは? P.13

⇒アシスト運転とは? P.15

換気 切 弱 常時
運転切換
電気 自動 暖房 冷房 送風 送風 強力

セーブ 切タイマー 予約 切タイマー 入タイマー
午前 10:00 午後 10:00 午前 10:00 午後 10:00

湿度切換 設定温度 20°C
快適 強力 点検 F 標準 低め

空調風量 自動 微 弱 強

運転 運転/セーブ

運転切換 温度設定 運転/セーブ

フィルター 20°C

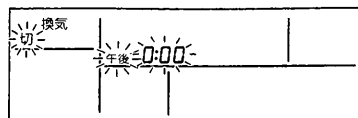
換気風量 時計 切タイマー 入タイマー 予約/取消
フィルターリセット もどる すすむ アシスト

※下図はカバーを開けた状態です。

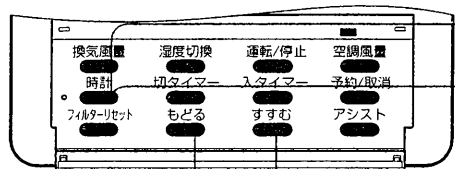
ご使用前の準備

1. 専用ブレーカーを「ON」にする。

専用ブレーカーは、冷暖房ユニット用の「200V」とロスナイ換気ユニット用の「100V」と2つあります。リモコンは右図の状態となります。

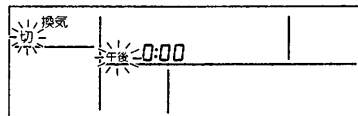


2. リモコンの時計を合わせる。(リモコンのとびらを(開けてください))



時計ボタンを押す。

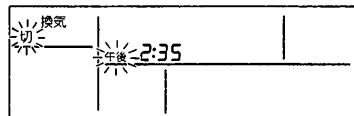
「切」、「午後」と時刻の後の「・」が点滅します。
表示例は電源ON後に時計ボタンを押した場合を表示します。



すすむボタンまたはもどるボタンを押す。

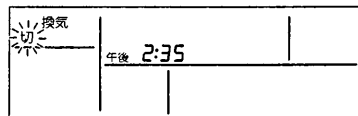


すすむボタンまたはもどるボタンを押して時刻を合わせてください。押し続けると早送りします。



再度時計ボタンを押す。

現在時刻を合わせたら、時計ボタンを押します。午後(午前)が点滅から点灯に変わります。

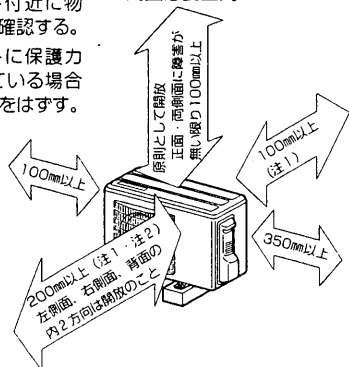


3. 室外ユニット、温水ボイラの準備をする。

室外ユニットの準備

- 室外ユニット付近に物が無いことを確認する。
- 室外ユニットに保護カバーをかけている場合は保護カバーをはずす。

周囲必要空間



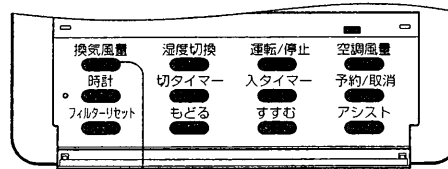
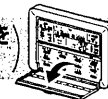
温水ボイラの準備 (VL-614HCR₂で暖房時のみ)

- ボイラの電源プラグをコンセントに差し込みます。
- ボイラの温調リモコンは通常「切」の状態にて使用します。
- ボイラの定油面器のセット、給排気筒接続部分の点検をボイラの取扱説明書に従い行います。
- ボイラの給排気筒トップ付近に危険物、可燃物や吸気口がないか確認します。
- ボイラの灯油タンクに灯油が入っていること、灯油コックが開いていること、防錆循環液が不足していないことを確認します。(防錆循環液は定期的なメンテナンスが必要です) P.20

換気運転のしかた

換気風量ボタンを押す。

(リモコンのとびらを(開けてください))



換気 常時	午後 2:35	空調風量 自動
運転切換 自動	湿度切換 快適	設定温度 標準



換気風量が
常時→弱→切とかわります。

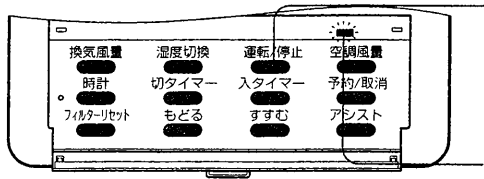
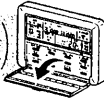
空調運転中(自動、暖房、冷房、ドライ、送風)は、換気は切ることができません。
常時→弱→常時とかわります。

高気密高断熱住宅では24時間換気が基本です。
「常時」でのご使用をおすすめします。

（空調運転（自動・暖房・冷房・ドライ・送風）のしかた）

1. 空調運転を開始する。

（リモコンのとびらを
開けてください）

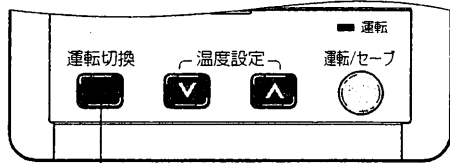


運転/停止 ボタンを押す。

（運転/セーブボタンでも空調運転を開始できます。）

運転ランプが点灯します。 運転

2. 空調運転を選択する。



換気	常時	午後 2:35	空調風量	自動
運転切換	暖房		設定温度	22℃

運転切換



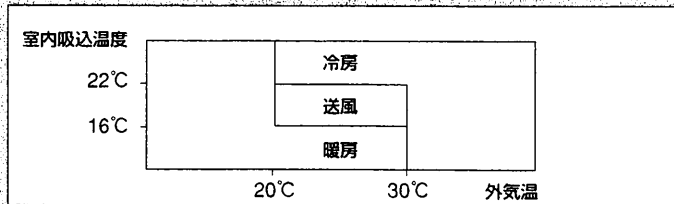
運転切換ボタンで「自動」「暖房」「冷房」「ドライ」「送風」を選ぶ。

運転切換ボタンを押すたびに
→自動→暖房→冷房→ドライ→送風→と変わります。（VL-514HPR₂）

運転切換ボタンを押すたびに
→自動→電気自動→暖房→電気暖房→冷房→ドライ→送風→と変わります。（VL-614HCR₂）

自動運転のしくみ

○運転/停止ボタンを押すと、外気温と室内吸込温度に応じて運転の種類と設定温度を自動的に選びます。



○その後、15分ごとに外気温と室内吸込温度に応じて運転の種類と設定温度を変えます。

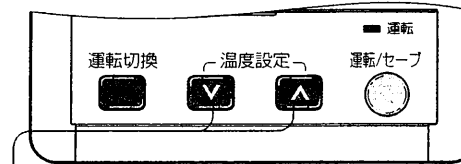
○運転の内容がお好みに合わないときは、運転切換ボタンを押して、暖房・冷房・ドライ運転に変えてください。



電気自動・電気暖房とは（VL-614HCR₂のみ）

室外ユニット（ヒートポンプ）にて暖房するモードです。温水（ボイラ）にて暖房する場合は、自動または暖房を選択してください。

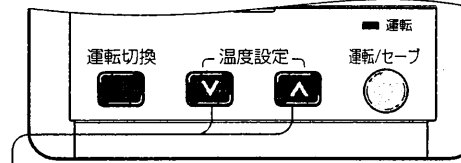
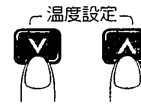
3. 温度と湿度を設定する。



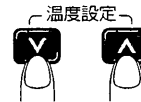
■運転切換ボタンで自動を選んだ場合
温度設定ボタンを押すたびに
高め⇄標準⇄低めと変わります。

換気	常時	午後 2:35	空調風量	自動
運転切換	自動		設定温度	▲高め ■標準 ▼低め

▲高め…標準設定温度より2℃高めに設定されます。
■標準…標準設定温度
▼低め…標準設定温度より2℃低めに設定されます。



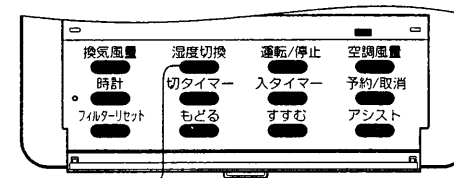
■運転切換ボタンで暖房・冷房・ドライを選んだ場合
温度設定ボタンで目標温度を設定する。



・調節範囲=16~30℃
「V」で下がり、「^」で上がります。

換気	常時	午後 2:35	空調風量	自動
運転切換	暖房		設定温度	22℃

※おすすめ温度
暖房時=18~22℃
冷房時=27~30℃
ドライ時=22~26℃
(室温より1~2℃低め)



■運転切換ボタンでドライを選んだ場合
湿度切換ボタンを押すたびに
→強力→快適→と変わります。

換気	常時	午後 2:35	空調風量	自動
運転切換	ドライ	湿度切換	設定温度	24℃

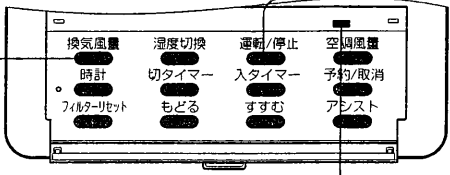
「快適」…60% } を目安に除湿運転をします。
「強力」…50%

湿度切換



（ 停止のしかた ）

空調運転と換気運転をそれぞれ停止させます。



1 空調運転（自動・暖房・冷房・ドライ・送風）を停止する。
 運転/停止 ボタンを押す。

空調運転を停止しても、換気運転は動いています。完全に停止させるには換気運転も停止させてください。

運転ランプが消灯する。
 ■ 運転

2 換気運転を停止する。
 換気運転 ボタンを押して換気「切」を選択する。

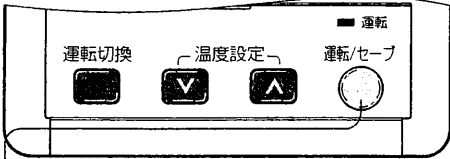
空調運転を停止しないと換気「切」は選択できません。

換気	午後 2:35	
切		

（ 便利につかいかた ）

セーブ運転

換気の運転はそのままにして、空調のみをひかえめにする省エネ運転のことです。設定温度が冷房時で3℃高く、暖房時で5℃低い温度にします。（ドライ時は湿度設定が「快適」になります。）お出かけ時、就寝時に便利です。



運転/セーブ ボタンを押す。

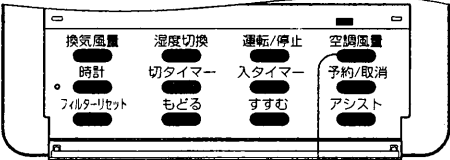
もう一度押すと通常の運転に戻ります。

換気弱	セーブ	
	午後 2:35	

- ・セーブ中はセーブ表示が点灯します。
- ・セーブ中は空調切換、温度設定などはできません。

空調風量の変更

運転音が気になる時など、空調風量を切換えることができます。通常は自動でお使いください。



空調風量 ボタンを押す。

空調風量ボタンを押すたびに
 →自動→微→弱→強→と変わります。

換気 常時	午後 2:35	空調風量 自動
運転切換	湿度切換 快適	設定温度 24℃
ドライ		

空調運転を切替えたとき（P.10）、設定した空調風量に変更されることがあります。そのときは、再度空調風量の設定をしてください。

（ 長期間ご使用にならないとき ）

長期間使用しないとき

- 3～4時間、送風運転して室内機内部を乾燥させる。
- ブレーカーを「切」にする。
ブレーカーは、室内機用（200V）とロスナイ換気ユニット三路シャッター用（100V）の2つあります。
- 各部をお手入れする。P.16
フィルターは掃除して、元どおり取付けてください。

再度使い始めるとき

- フィルターを掃除し、天井埋込形グリルに取付ける。
フィルターがないまま運転すると、故障の原因になります。
- グリル・室内外機とも吹出口や吸込口をふさいでいないか確認する。
- アース線が外れていないことを確認する。
- 専用ブレーカーを「入」にする。
はじめにロスナイ換気ユニット用（100V）、次に室内機用（200V）の順に入れてください。

便利につかいかた

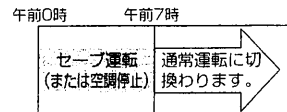
タイマー運転

タイマー運転

通常運転とセーブ運転を自動的に切換えたいときに切換時刻を設定します。朝と夜の運転内容を自動的に切換えたいときに便利です。

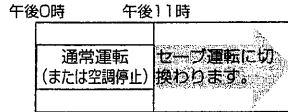
●入タイマーの使いかた

例) 午前7時に入タイマーを予約したとき
予約した午前7時になると自動的に通常運転に切換わります。



●切タイマー使いかた

例) 午後11時に切タイマーを予約したとき
予約した午後11時になると自動的にセーブ運転に切換わります。

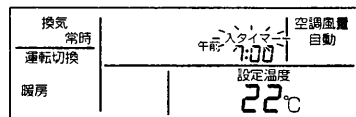


お願い

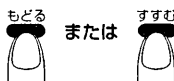
- 一度タイマーをセットすると毎日同じタイマー運転ができます。
- 入タイマー、切タイマーとも一日に一度ずつしか予約できません。
- タイマー予約前に現在時刻を合わせる必要があります。8ページをご覧ください。
- タイマー予約をすると、現在時刻は消えます。
- 停電すると予約した時刻が取り消されますので再度予約を行ってください。
- 換気運転のみのタイマー運転はできません。

■入タイマーを予約するとき 表示例：午前7時に入タイマーを予約するとき
(切タイマーを予約するとき 切タイマーを押して2・3の手順で予約してください。)
切タイマーを設定しても換気運転は継続しています。

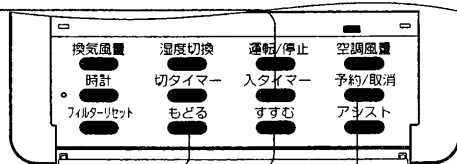
1 入タイマーを押す。



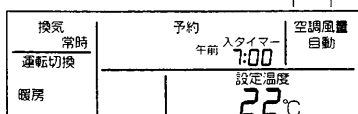
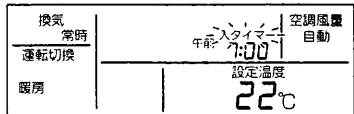
2 もどる、すすむボタンを押し、予約したい時刻を合わせる。



●「すすむ」を押すと進み、「もどる」を押すと戻ります。



3 予約/取消ボタンを押す。



予約の取消

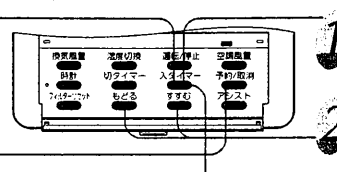
(例) 入タイマーを取消す。



を押す。



を押す。



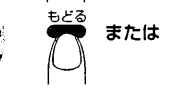
※1の動作を省略しますとすべてのタイマーが取消されます。
※停電するとタイマー予約は取消されます。

予約時間の変更

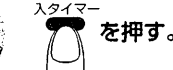
(例) 入タイマー時刻の変更。



を押す。



または を押し時刻をかえる。

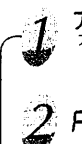
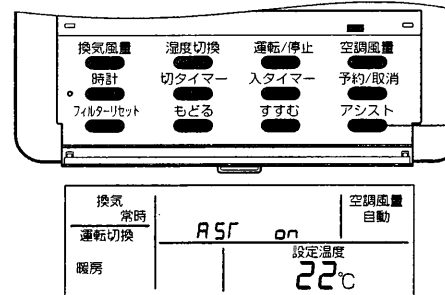


を押す。

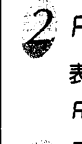
アシスト運転

アシスト冷暖房機能用の配管がしてある場合のみ作動します。

※冷暖房ユニットの冷暖房能力が不足した時に、他の冷暖房ユニットからの温風・冷風を送って補助する機能です。



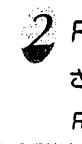
1 アシスト運転機能を使用するとき。
アシスト ボタンを押す。



2 R5F OFFと数秒間表示されるので、表示されている間に再度アシスト ボタンを押す。
R5F onと表示される。



1 アシスト運転機能を使用しないとき。
アシスト ボタンを押す。



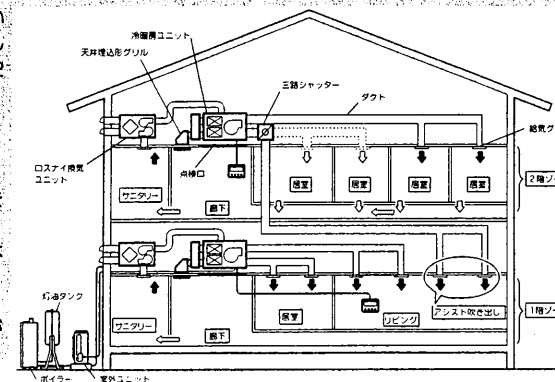
2 R5F onと数秒間表示されるので、表示されている間に再度アシスト ボタンを押す。
R5F OFFと表示される。

●冷暖房能力が不足した場合、自動的にアシスト運転をする。
※空調風量が「弱」または「微」のときはアシスト運転しません。

アシスト冷暖房機能

特に冷房のピーク負荷時の対応として、2階の冷房能力を1階へ(またはその逆)へ回す機能です。

- 例えば右図の住宅で、1階の冷房(あるいは暖房)能力が不足して設定温度に達しない場合、三路シャッターを動作させ、2階のユニットの冷風(あるいは温風)を1階に送って補助する機能です。
- アシスト冷暖房機能が動作中は
1. アシストする側(例では2階のユニット)のコントローラはアシスト中「R5F」を表示します。
 2. 空調モードはアシストされる側(例では1階のユニット)と同一になります。
 3. アシストする側(例では2階のユニット)のゾーンは空調能力が不足することがあります。



お手入れ

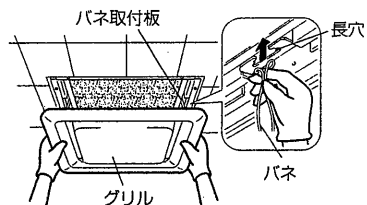
冷暖房ユニットを効率よくお使いいただくために、各部品のお手入れを行ってください。コントローラに「フィルタークリーニング」の表示が点滅してその時期をお知らせしますが2週間に1回以上を目安に行ってください。

お手入れの前に

- 運転を停止し分電盤ブレーカーを「切」にします。

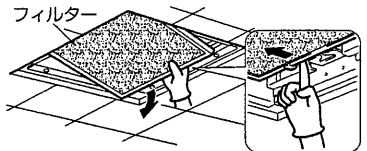
各部品の取りはずしかた

1 グリルをはずす。



グリルについている2つのパネを両手でつかみ本体内部の長穴からはずしてください。(落下防止のためチェーンが取付てありますが十分注意してグリルを取りはずしてください)

2 フィルターをはずす。

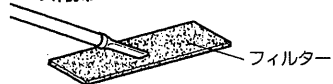


フィルターの枠を持って矢印の方向へ押し下側へ引いてください。

各部品の清掃のしかた

…2週間に1回を目安に清掃を行ってください。

1 フィルターの清掃



お願い

- 熱湯で洗ったり、もみ洗いは絶対におやめください。
- 火にあぶることは絶対に行わないでください。

軽く手でたたか、または掃除機でほこりを吸い取ります。汚れのひどい場合は、中性洗剤を溶かしたぬるま湯に浸して汚れを落としてからきれいな水で押し洗いをし、よく乾かします。(水洗いによる清掃再生回数は5~6回です。それ以上になったら新しいフィルターと交換してください)

2 グリルの掃除

グリルの汚れは、ぬるま湯に浸した布をかたくしぼってふきます。汚れのひどい場合は、薄めた中性洗剤を浸した布で汚れをふき取り、洗剤が残らないように乾いた布でよくふき取ります。

お願い

- お手入れに下記の溶剤等は絶対には使用しないでください。(変質・変色する原因になります) シンナー、アルコール、ベンジン、ガソリン、灯油、スプレー、アルカリ洗剤、化学ぞうきんの薬剤

△ 注意 P.4

- お手入れの際は手袋を着用する。(着用しないとけがをすることがあります)
- グリルの着脱・清掃のとき不安定な台に乗らない。(けがの原因になります)

熱交換機のお手入れ

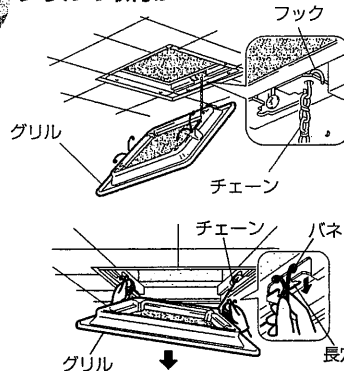
- 定期的(約5年ごと)に専門家による清掃が必要です。メンテナンス契約をお願いします。

お願い VL-614HCRのみ

- シーズンに1~2回ボイラの点検を行ってください。防錆循環液は少しずつ蒸発しますボイラの水位レベルを確認して液の補充をしてください。
- 詳しくはボイラの取扱説明書をお読みください。

お手入れ後の取付と確認

1 グリルの取付け



- (1) グリルの内側にテープ止めされているチェーンのテープをはがしパネの取付板の穴に左図のように引掛けてください。
- (2) グリルの両側に付いている2つのパネを両手でつかみパネ取付板の長穴に差し込み、手を放し軽くグリルを押し付けてください。

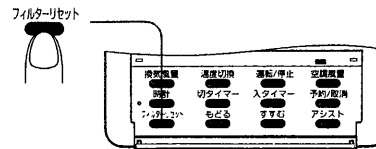
お手入れが終わったら、取りはずしと逆の順序で取付け、グリルが確実に取付けてあるか確認してください。グリルの取付の際、手をはさまない様に注意してください。

お手入れ後の運転準備と確認

1. 専用ブレーカーを「入」にする。
2. 運転を開始する。
3. コントローラのフィルターリセットを行う。
4. 次の確認をする。
 - 部品は確実に取付けられていますか。
 - 異常な音が出ていませんか。
 - 風は正常に出ていますか。

換気	常時	午後 10:00	空調風量
運転切換			自動
冷房		設定温度	20℃
		フィルター	

- フィルターお掃除サインのリセットのしかた
フィルターリセットボタンを約3秒以上押し続けて「フィルター」が点灯に変わったら離してください。「フィルター」が消灯し、リセットされます。(再度、運転時間を積算しはじめます。)
「フィルター」が点滅してなくても、お掃除後はフィルターリセットを行ってください。



故障かな?と思ったら

だいじょうぶかな?

お答えします

冷房運転しても、3分間ほど冷風が吹出さない。

■室外ユニットを保護しています。
※そのままお待ちください。

暖房運転しても、10分間ほど温風が吹出さない。

■十分に暖かな風をお届けするために準備中です。
※そのままお待ちください。

運転を開始するときや、室温調節器が作動し運転を開始したとき「シュー」と音がする。

■ユニット内部にガス(冷媒)が流れ始めた音で異常ではありません。

室外ユニットから水または水蒸気が出る。

■冷房時に、冷えた配管についた水が落ちるためです。
■暖房時に、霜取り運転等でとけた水や水蒸気が出るためです。

ときどき「ブシュ」という音がする。

■ユニット内部の冷媒の流れが切替わるときの音です。

部屋がにおう。

■他の部屋で発生したにおいが吹出されるためです。家の中の空気を循環させています。P.20
・台所での調理中は必ず換気扇を回してください。
・室内機の吸込口のそばではたばこを吸わないでください。

よく暖まらない。
よく冷えない。

■アシスト機能が働いている場合、アシストしているゾーンの冷暖房能力は低下します。
■室外ユニットの吸込口や吹出口をふさいでいませんか?
※室内ユニットの周りに必要な空間をとってください。P.8
■フィルターにほこりやごみがつまっていますか?
※フィルターは定期的に清掃してください。P.16
■各部屋の給気グリルは風量調整ができます。
※給気グリルの取扱説明書の方法で風量を増減してください。

運転直後に吹出グリルから冷風がでる。

■ボイラのヒートアップに時間が必要です。空調ユニットに温水が送られ温風がでるまで、しばらくおまちください。

ボイラの運転が停止した。

■ボイラの防錆循環液が不足していませんか?
■油だきボイラご使用の場合、油タンクの灯油が空ではありませんか?
■ガスボイラご使用の場合、ガスの供給が止まっていますか?

ボイラ運転しっぱなし。

■ボイラリモコンが「入」になっていませんか?

フィルター清掃ランプが点灯した。

■天井埋込形グリルのフィルターが汚れています。フィルターを掃除してください。P.19

雷が鳴り出した。

■システムを停止し(P.12)、ブレーカーを「切」(P.6)にしてください。電気部品が損傷することがあります。

停電した。

■電気が復旧したら、再度、運転操作を行ってください。

以上の方法で点検し、処置しても直らないときは、使用を中止し販売店へご相談ください。
修理をお申しつけのときは、故障の内容をできるだけ詳しく、またコントローラの表示状態をご連絡ください。

次の場合は、運転を停止し、「ご相談一覧」にご相談ください。P.20

コントローラの表示モニターに、
E → 25 → 00 (エラーコード) が表示されている。

■排水(ドレン水)が正常に排出されていません。
(専門家による、排水管清掃等の作業が必要です。)

「点検」が点滅している。

■空調運転を停止してエラーコードを確認してください。

コントローラの表示モニターに、
E → 03 → 04 が表示されている。

■フィルターが詰まっていますか?
天井埋込形グリルのフィルターを清掃してください。
それでも直らない場合は、システムを停止し(P.12)、
ブレーカーを「切」(P.6)にしてください。

誤って異物や水をかけてしまった。
ブレーカーがたびたび「切」になる。
コントローラの表示部に上記以外の
エラーコードが表示される。

■システムを停止し(P.12)、ブレーカーを
「切」(P.6)にしてください。

保証とアフターサービス

保証書(別添付)

- 保証書は、必ず「お買上げ日・販売店名」などの記入をお確かめのうえ、販売店からお受取りください。P.20
- 内容をよくお読みのと、大切に保管してください。
- 据付工事説明書も同時にお受け取りいただき、最終ページの試運転チェックシートに販売店のチェックが記入されていることをご確認ください。(保証は当社の認定工事店が、正規の工事を行ったことが前提です。)
- 保証には、必要事項が記載された「保証書」および据付説明書最終ページの「試運転チェックシート」のご提示が必要です。

修理を依頼されるときは

- 「故障かな?と思ったら」P.18
に従ってお調べください。なお、不具合があるときは、運転を停止し、必ずブレーカー(室内機用とロスナイ用)を切ってから、「ご相談一覧」にご相談ください。P.20
- 保証期間中は
修理に際しては、保証書と据付工事説明書(試運転チェックシート)をご提示ください。
保証書の規定に従って販売店が修理させていただきます。
- 保証期間がすぎているときは
修理すれば使用できる場合には、ご希望により修理させていただきます。
修理料金は、技術料+部品代(出張料)などで構成されています。

保証期間と保証対象

- 対象機器について、機能部品の故障による運転停止が発生した場合、下記保証期間無償にて修理することを保証します。

	電装部品	冷媒回路	モータ	外装	フィルター
冷暖房室内ユニット VL-514HPR2、VL-614HCR2	○	○	○	-	/
冷暖房室外ユニット VL-42ALS2	○	○	□	-	/
ロスナイ換気ユニット VL-150ZM等	○	/	□	-	-
吸込グリル P-23GSF3	/	/	/	-	-
コントローラ P-50LTU	/	/	/	-	/

○: 5年保証、□: 1年保証、-: 保証対象外、/: 対象なし
※6年目以降は有償です

補修用性能部品の保有期間

当社はこの冷暖房システムの補修用性能部品を製造打切り後9年保有しています。
補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

（保守契約のお願い）

「換気・冷暖房システム」を末長く快適にご使用いただくためには、専門家による定期的な保守点検が必要です。故障がおきてからの修理では費用と時間がかかり、お客さまにご不便をおかけすることになります。保守契約をお申し込みいただくようお願い申し上げます。

- お申し込み先
販売店またはお近くの「ご相談窓口一覧」にご相談ください。
- 定期点検費用
定期点検・部品交換費用については、お客さまにご相談申し上げます。
- 防錆循環液には、三菱純正防錆循環液（濃度50%調整品VPZ-10KX-ECO, VPZ-18KX-ECO）を必ず使用してください。
(水や自動車用不凍液を使用すると防錆効果が異なり、ポンプブロック・釜なり・システム寿命低下等の原因になります。)

項目		点検の目安
冷暖房ユニット	モータ（玉軸受）	5年に1回 交換
	ドレンポンプ	1年に1回 清掃、5年に1回 交換
	防カビプレート	1年に1回 交換
	熱交換器フィン	5年に1回 清掃
ロスナイ換気ユニット	ロスナイエレメント	1年に1回 点検・清掃
給気グリル、天井埋込形グリル、コントローラ		1年に1回 点検・清掃
温水ボイラ	防錆循環液	2年に1回 点検
その他システムの点検		1年に1回

（仕様）

換気・冷暖房システム

(50/60Hz)


形名	循環風量	暖房能力	冷房能力	消費電力	騒音	質量
VL-514HPR ₂	575m ³ /h (最大)	5.0kW	4.0kW	暖房時：1520W／冷房時：1290W	37dB(A)	27kg
VL-614HCR ₂	575m ³ /h (最大)	6.4kW	4.0kW	暖房(温水)：145W／冷房時：1290W	37dB(A)	31kg

- この仕様値は、JIS規格(JIS C9612)に基づいた数値です。
- システム停止したときの消費電力は約4Wです。
- 運転音は反響音の少ない無響室で測定した数値で標準機外静圧120pa時です。
実際に据付けた状態で測定すると周囲の音や反響を受け表示数値より大きくなるのが普通です。

（ご相談について）

ご相談一覧

三菱電機修理窓口・ご相談窓口	同封の一覧表をご覧ください。
お買上げの販売店	下記の記入欄をご覧ください。

	★長年ご使用の換気・冷暖房システムの点検を！ <small>●「換気・高断熱住宅用換気・冷暖房システム」の補修用性 補修品の保有年数は製造打ち切り後5年です。</small>			
	<table border="1"> <tr> <td> このような 症状は ありませんか </td> <td> ●コゲくさい臭いがする。 ●運転音が異常に大きくなる。 ●ユニットから水が漏れる。 ●漏電遮断器がひんぱんに落ちる。 ●その他の異常や故障がある。 </td> <td> ▶ </td> <td> ご使用中 故障や事故防止のため、運転を停止し、ブレーカーを切ってから、必ず販売店にご相談ください。 </td> </tr> </table>	このような 症状は ありませんか	●コゲくさい臭いがする。 ●運転音が異常に大きくなる。 ●ユニットから水が漏れる。 ●漏電遮断器がひんぱんに落ちる。 ●その他の異常や故障がある。	▶
このような 症状は ありませんか	●コゲくさい臭いがする。 ●運転音が異常に大きくなる。 ●ユニットから水が漏れる。 ●漏電遮断器がひんぱんに落ちる。 ●その他の異常や故障がある。	▶	ご使用中 故障や事故防止のため、運転を停止し、ブレーカーを切ってから、必ず販売店にご相談ください。	

お買上げ販売店名	電話
お買上げ(据付)日	年 月 日

三菱電機株式会社

中津川製作所 〒508-8666 岐阜県中津川市駒場町1番3号 電話0573-66-2111

この説明書は、再生紙を使用しています。